

富山地方鉄道鉄道線に関する意見交換会（滑川高校）

令和8年1月21日（水）

【主な意見の内容】

- 1 地鉄の滑川－新魚津間を廃止する場合、滑川駅で降りた学生が滑川高校まで歩いて来るのに30分くらいかかってしまう。中滑川駅はすぐ隣をあいの風とやま鉄道が通っているので、中滑川駅周辺にあいの風とやま鉄道の新駅を設置してほしい。高校から10分ほどと近く、市役所や銀行、メリカなどもあることから、ニーズや付加価値が増えるのではないかと。
- 2 地鉄独自の再建築としては、観光列車の乗入れ、特急ひだ（JR高山本線）の宇奈月温泉までの乗入れを考えてみた。観光列車が週末金土日の3日間運行することにより、観光客を取り込むことができると考える。
- 3 並行区間を廃止する場合の検討事項として、あいの風とやま鉄道東滑川駅の整備とあるが、現状無人駅となっている中で利便性の向上は考えにくいように思うし、滑川駅の連絡橋の設置についても、現在の地下道で役割はなされている。これらを検討されている理由を教えてください。
- 4 魚津市では、電鉄魚津駅や西魚津駅で結構な利用者が見られ、あいの風とやま鉄道の1駅で代替するのが難しい状況にある。この場合、バスの本数を増やすなどのアクセスをよくすれば、移動に係る労力・時間を減らせていいのではないかと思います。
- 5 南富山地区では、コミュニティバスの乗車定員の問題で中学生の利用を控えるよう案内されていると聞いた。新たにコミュニティバスを走らせるとなった場合、どれくらいの乗車規模で、利用する方を全て乗せられるような大きさなのか心配がある。
- 6 現在考えられている利用者増の取組案として、新型車両の導入が検討されているが、新型車両を入れることによって、どれくらい消費電力や動力費が抑えられるか。